

2. 事業の必要性等【事業の投資効果】

令和3年12月17日時点

◆全事業における費用対効果の結果

項目		今回評価時 (令和3年度)
全事業	便益:B(億円)	3,888.9 一般資産被害額 : 1,938.5(49%) 農産物被害額 : 16.9(1%) 公共土木施設等被害額 : 1,695.0(43%) 営業停止損失 : 107.1(3%) 応急対策費用 : 119.8(3%) 残存価値 : 11.6(1%)
	B/C	8.0

2. 事業の必要性等【事業の投資効果】

令和4年3月8日時点

◆全事業における費用対効果の結果

項目		今回評価時 (令和3年度)
全事業	便益:B(億円)	3,886.6 一般資産被害額 : 1,937.2(49%) 農産物被害額 : 17.0(1%) 公共土木施設等被害額 : 1,694.0(43%) 営業停止損失 : 107.1(3%) 応急対策費用 : 119.8(3%) 残存価値 : 11.6(1%)
	B/C	8.0

※修正箇所を朱書きにて表示

3. 事業の進捗見込み(河川整備計画の内容)

令和3年12月17日時点

◆当面整備における費用対効果の結果

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	1117.0億円
残存価値(B ₂)	5.2億円
総便益(B ₁ +B ₂)	1122.2億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	114.7億円
維持管理費(C ₂)	10.9億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	125.6億円
費用便益比	8.9

3. 事業の進捗見込み(河川整備計画の内容)

令和4年3月8日時点

◆当面整備における費用対効果の結果

項目	当面実施する整備
便益(B ₁)	1116.0億円
残存価値(B ₂)	5.2億円
総便益(B ₁ +B ₂)	1121.2億円

項目	当面実施する整備
建設費(C ₁)	114.7億円
維持管理費(C ₂)	10.9億円
総事業費(C ₁ +C ₂)	125.6億円
費用便益比	8.9

※修正箇所を朱書きにて表示